

未来につなぐ公共施設のあり方を考えませんか？

# 小平市 公共施設マネジメント市民会議ニュース

VOL.4 平成27年7月22日

## 第4回 小平市公共施設マネジメント市民会議

- 日時：平成27年7月18日(土曜) 午後2時～午後4時
- 場所：中央公民館 講座室2
- 概要：① 開会  
② 前回会議の振り返り  
③ 「量・品質・機能」の説明  
④ ワークショップ【テーマ：夢と希望】  
⑤ 閉会



将来の社会情勢の変化などを見据え、これからの公共施設のあり方について話し合う小平市公共施設マネジメント市民会議を4回シリーズで開催し、最終回を迎えました。

前回の会議で話し合ったことなどを参加された方にお話していただき、行政経営課から「公共施設における量・品質・機能」の視点についてのまとめの説明を行った後に、今回のテーマである「夢と希望～(仮称)公共施設マネジメント基本方針の副題を考える～」を3グループに分かれワークショップを行いました。

### ワークショップの概要

#### ステップ1 職員説明

ワークショップの前段として、活発な意見交換と効果的な内容とするため「公共施設における『量・品質・機能』」について、行政経営課から説明をする。

#### ステップ2 意見出し

グループに分かれ、将来の社会情勢の変化を見据え、これからの公共施設に対する「夢と希望」のキーワードをひとり3つまで付箋に書き、意見出しを行う。

#### ステップ3 発表

付箋を模造紙に貼り、グループのメンバー内で議論しながら、グループとして相応しいと考える(仮称)公共施設マネジメント基本方針の副題をまとめ、発表する。



市民会議の様子



グループワークの様子



発表の様子

裏面につづく



## 【今回のポイント】「夢と希望」とは



公共施設の老朽化、人口減少・少子高齢化、財政バランスの悪化など、公共施設を取り巻く環境が変化することが予想されます。このような社会情勢の変化を見据え、公共施設マネジメントを推進し、課題を解決していくためには、どういったビジョンを持ち、そしてこれからの公共施設あり方について考えていくかが大切な要素となります。

仲町公民館・仲町図書館（なかまちテラス）は、公民館機能と図書館機能の複合化に合わせてカフェスペースが生まれ、憩いの場が創出されました。また、小平第六小学校は学校教育機能だけでなく地域開放機能も有することで、学校が地域の交流の拠点となる効果を生み出しています。このことから、公共施設マネジメントはこれからの公共施設に新しい価値を生み出すチャンスと捉えることができます。今後は、公共施設の持つ新たな可能性に対して「夢と希望」を持ち、取り組んでいくことが大切な要素となってきます。

### ■ワークショップで出た(仮称)公共施設マネジメント基本方針の副題(案)と主な意見

#### ① 自分たちで創る 人が中心のまち小平

- ・市民が参加し、そして主体的に関わり、まちをデザインすること。
- ・人のことをまず第一に考え、つながりを持てるような公共施設であること。
- ・健康やイノベーションを意識した公共施設の整備をすること。

#### ② いつでもだれでもつどえる わくわくするランドマーク

- ・いつでも、だれでも利用できる公共施設が様々な交流を生み出す。
- ・公共施設は市政のバロメーターであり、まちのランドマークであるので市民がわくわくできるようなものであることが大切だ。
- ・公共施設が多機能的な居場所で、ゆったりまったりできるなど、人生の幸福につながる良い。

#### ③ 緑ゆたかな自然のなかで みんなで一緒に考える公共施設

- ・緑ゆたかである小平市の良さが公共施設で感じられると良い。
- ・公共施設は市民交流の場であり、気軽に集まり、学び考えることができること。
- ・市民同士がつながることができ、文化などを世代間でつないでいくことができる場であること。

### 市からのメッセージ

市民会議にご参加いただきありがとうございました。

今年度は「(仮称)公共施設マネジメント基本方針」を策定し、これからの公共施設マネジメントを推進するうえでの基本的な考え方などを示す予定です。

今後ともご協力のほど、よろしく願いいたします。

### 【お問合せ】

小平市 企画政策部 行政経営課

〒187-8701 小平市小川町2-1333

TEL 042-346-9756 FAX 042-346-9513

メールアドレス gyoseikeiei@city.kodaira.lg.jp

